尼崎市教育委員会 11月定例会 議事録

1 開会及び閉会の日時

令和6年11月25日 午後3時5分～午後6時52分

2 出席委員及び欠席委員

出席委員等	教育長	白畑 優
	教育長職務代理者	徳山 育弘
	委員	太田 垣亘世
	委員	中平 了悟
	委員	正岡 康子

3 出席した事務局職員等

教育次長	安田 博之
教育次長	東 政信
管理部長	佐々木 修
参与	能島 裕介
学校教育部長	渡邊 明美
学校支援担当部長	西田 啓行
教育総合センター所長	嶋名 雅之
社会教育部長	橋本 貴宗
社会教育部参与	高橋 利浩
企画管理課長	伊元 俊幸
職員課長	西川 欣伸
学校教育課長	澤田 慶太
保健体育課長	堀岡 浩子
スポーツ推進課長	本田 勝也
学びの多様化学校設置準備担当課長	石井 郁樹
社会教育課長	吉岡 辰郎

日程第1 議事録の承認

日程第2 議事

- (1) 議案第49号 予算の執行等に関する協定の一部を変更する協定について
- (2) 議案第50号 物件の買入れについて（追認）
- (3) 議案第51号 物件の買入れについて（追認）
- (4) 議案第52号 物件の買入れについて（追認）

日程第3 協議・報告

- (1) 第2次尼崎市教育振興基本計画（素案）に対する市民意見公募手続の実施について
- (2) 学びの多様化学校の設置準備に係る現在の検討状況等について
- (3) 尼崎市学校運営協議会委員の委嘱について
- (4) 尼崎市版地域クラブ活動の推進について（方針）

日程第4 教育長の報告と委員協議

午後 3 時 5 分、教育長は開会を宣した。

白畑教育長 本日の日程につきましては、配布いたしております日程表のとおりです。
 日程第 2 「議事」の「議案第 5 0 号」「同第 5 1 号」及び「同第 5 2 号」の「物件の
買入れについて（追認）」は、会議規則第 6 条の 2 第 1 項第 2 号、すなわち『教育予算
その他議会の議決を経るべき議案についての意見の申出に関する事件』に該当するた
め、公開しないことが適当であると考えますが、いかがでしょうか。

教育委員 異議なし

白畑教育長 よって、「議案第 5 0 号」「同第 5 1 号」及び「同第 5 2 号」は、会議規則第 6 条の
2 第 1 項第 2 号に該当するため、公開しないことと決しました。また、日程第 3 「協
議・報告」の「学びの多様化学校の設置準備に係る現在の検討状況等について」及び
「尼崎市版地域クラブ活動の推進について（方針）」は、意思形成過程等の内容が含ま
れますので、公開しないことが適当であると考えますが、いかがでしょうか。

教育委員 異議なし

白畑教育長 異議なしと認めます。次に、日程第 3 「協議・報告」の「尼崎市学校運営協議会委
員の委嘱について」は内容に個人情報が含まれますので、公開しないことが適当であ
ると考えますが、いかがでしょうか。

教育委員 異議なし

白畑教育長 異議なしと認めます。って、「協議・報告」の 3 件も、会議規則第 6 条の 2 第 1 項第
4 号に該当するため、公開しないことと決しました。なお、公開しないことと決しま
した案件については、日程第 4 の「教育長の報告と委員協議」の後に審議することと
いたします。

白畑教育長 それでは、これより日程に入ります。まず、日程第 1 の「議事録の承認」について
でございます。10 月定例会の議事録につきましては、先般、事務局より送付してお
りますとおりです。中平委員から修正がございましたので、この場で資料を配付し、
修正内容を確認させていただきます。

白畑教育長 それでは、これよりお諮りいたします。10 月定例会の議事録を承認することに異
議ございませんか。

教育委員 異議なし

白畑教育長 異議なしと認めます。よって、10月定例会の議事録を承認することにいたします。次に、日程第2「議事」の「議案第49号 予算の執行等に関する協定の一部を変更する協定について」を議題とします。提案理由の説明を求めます。西川 職員課長。

職員課長 職員課長でございます。それでは、議案第49号「予算の執行等に関する協定の一部を変更する協定について」につきましてご説明申し上げます。この協定は、市長の権限に属する事務の一部を教育委員会の職員に補助執行させるために、市長と教育委員会との間で結んでいる協定でございます。

それでは、内容を説明いたします。恐れ入りますが、議案書2ページ、新旧対照表をご覧ください。左が改正後、右が現行となっております、改正後の欄に記載のとおり「市の教育大綱の策定に関する事務で特に必要があると認められるもの」を追加するものでございます。改めてご説明いたしますが、教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき、地方公共団体の長が、その地域の实情に応じて定める、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する方針です。これまで、本市における教育大綱は尼崎市教育振興基本計画の第1部「基本理念」と同内容として整理してまいりましたが、今回、新たな教育振興基本計画を策定するこの機に、市長として、改めて市としての教育政策の方向性をより明確にするため、「教育大綱」を策定することとなりました。本来、教育大綱については、地方公共団体の長が定めることとされておりますが、その草案の作成に当たっては、教育に関する知見や実情を把握している必要がございます。こうした中、より効果的・効率的に事務を執行するため、それらを熟知する教育委員会が補助執行を受けて作成を行うこととなりました。これに伴い、補助執行させる事務をより明確に規定することを目的に、協定の改正を行うものでございます。

なお、こちらの協定の施行日ですが、議決いただければ本日付けの令和6年11月25日としております。また、現行の協定書を3ページに参考として添付しております。以上で、議案第49号「予算の施行等に関する協定の一部を変更する協定について」に関する説明を終わらせていただきます。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

白畑教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

白畑教育長 質疑がないようですので、これより採決に入ります。

白畑教育長 お諮りいたします。「議案第49号」を、原案のとおり可決することに異議ございませんか。

教育委員 異議なし

白畑教育長 よって、「議案第49号」は原案のとおり可決いたしました。ここで職員の入替えを行います。

白畑教育長

次に、日程第3「協議・報告」の「第2次尼崎市教育振興基本計画（素案）に対する市民意見公募手続の実施について」を議題とします。提案理由の説明を求めます。
伊元 企画管理課長。

企画管理課長

企画管理課長でございます。それでは、第2次尼崎市教育振興基本計画素案に対する市民意見公募手続について、ご説明します。まず1枚目をご覧ください。今回、第2次教育振興基本計画の素案に対する市民意見公募を実施するにあたりまして、期間は12月12日から令和7年1月13日までの32日間でございます。公表の方法は、ホームページや各施設で現物をご覧ください形となります。次のページが、パブリックコメントの案件の概要でございます。これからパブリックコメントで様々な意見をいただき、12月10日の総合教育会議の場で教育委員の皆様と議論をしていただきます。また、12月11日の市議会の文教協議会でもご意見をいただく予定です。これらの様々な意見をまとめ、一旦、審議会の方にお返しして、令和7年1月末に予定している第6回教育振興審議会で最終答申をいただきます。その後、審議会から教育委員会事務局にお返しいただき計画の策定となります。パブリックコメントの案件概要について、1～4番は前回と同じ内容になりますが、5番「市民意向調査の概要」からご説明いたします。策定過程においてご意見を伺ったものとしましては、あま咲きコインのアプリを使用して市民の方からウェブアンケートを実施しました。また、さらにご意見を広く伺うため保護者向けアンケートも実施しました。学校を通じて、QRコードを書いたプリントを全保護者に向けて配付を行い、2583件とたくさんのご意見をいただきました。その他にもPTAとの意見交換会、教員向けアンケートなどを実施しまして、いただいたご意見も踏まえながら策定に取り組んできたところでありまして、お手元に配付しているのがA3の概要版1枚と約50ページある本編のたたき台となりまして、今回はこの内容に対して意見聴取をさせていただきます。

次に、計画の内容についてご説明いたします。本編をご覧ください。本編の表紙に「あまたの可能性が、さきを拓く 自分をつくり 互いを認める教育」というサブタイトルを掲載しています。この文章中には「あまがさき」という言葉が入ってまして、この計画で我々が5年間で目指す教育の姿を端的に表現するため考えたものになります。策定にあたっての意見を聴く中で、教員とのワークショップも実施しまして、現場の方も含めどういった教育を目指していくべきかということを含めみんなで考えてこのサブタイトルに決まりました。

次に、概要版をご覧ください。左側の【この計画に込めた思い】のところを書いていますが、「子供たちの持つ数多の可能性を最大限に引き出し、未来を拓く人材を育成することが我々の役割である。教育を通じて、子どもたちが自信を持ち、自ら考え、表現し行動することで、自分の人生をつくり互いに認め合う」こういったことを我々は目指していきます。また、概要版の下の方に【基本方針】というところがございます。こちらには【未来志向の教育】【個の尊厳や人権の尊重】【家庭、地域社会との連携】と記載しております。現在の第1次計画におきましては、基本理念の部分に非常にボリュームがあり、基本方針のほかにも目指すべき人間像、学校地域それぞれの主体の役割というものも記載していましたが、今回の基本方針はこの三つでまとめ直しを

させていただきました。右側部分ですが、今回の計画の特徴としまして、【大切に
3つの視点】を記載しております。前回の計画は基本理念がまずあって、各論10個
が平行に並んでいる構成となっていました。我々が事業政策を考えていくにあ
たり、どういったことを大切にすることかというところを考え記載しました。「1. 一人ひ
とりに寄り添うこと、2. 挑戦を後押しすること、3. 発信と共有で進化すること」
というのは情報共有、情報発信、コミュニケーションを想定していて、この3つの視
点を各論や事業を考えるときに忘れないでおこうということで、今回新たに示させて
いただきました。またその下の【7つの各論】ですが、以前は就学前教育、義務教育
など10個の各論に分かれていましたが、それぞれの連携などをわかりやすくしたい
という目的から、今回は7つの各分野にまとめさせていただきました。裏面に各論の
一覧がありますので、またこちらもお覧ください。最後に【本計画の進捗管理】です
が、以前の教育委員会でもご指摘いただいたとおり、このような行政計画は着実な進
捗を図るための成果指標の設定が必要だろうということで、各論の中にそれぞれの進
捗を図る目標数値を設定させていただきました。

次に本編中の【7つの各論】の見方をご説明いたしますので、13ページをお開き
ください。このページは「各論1 学ぶ力と健やかな体の育成」の一部となりますが、
まず太い枠に「学ぶ力の育成」と目立つようにインデックスを付けています。この部
分は上下に内容が分かれていまして、上半分には「これまでの主な取り組み状況」と
して、これまで取り組んできた状況や現状を記載しております。ここでは、基礎学力
の定着を図るため、あまっこステップアップの調査を実施し課題分析に取り組んでき
たことと、その結果として小学校の算数で全国平均を上回り、中学校の数学で全国平
均に到達しましたということに記載しています。文章の右側には取組状況と連動する
形で、内容を図示できるグラフや図表を入れております。文章の下半分には、これま
での状況を踏まえて今後どんなふうに事業を展開していくかということで、「【1-3】
個別最適な学び、協働的な学びの一体的な充実による確かな学力の育成」という事業
の方向性を記載しています。前回の計画はどちらかという具体的な事業を書してい
ましたが、今回は未来に向けた計画ということで、こういうことに力を入れていきま
すといった方向性について主に記載しております。例えば、2段落目の2行目以降に、
「これまでの取組に一定の成果が見られる中、基礎学力を活用し、探求及び発展的な
学びにも注力していくことが大切だと考えております。」とか、「今後、基礎的・基本
的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、語彙力や読解力等の言語能力といった
学習の基盤となる資 質・能力をさらに高め、思考力や表現力等の充実を図ります」
とか3段落目の「A I 型のデジタル学習支援ドリルやデジタル採点システムなど
I C T を活用した学習のデジタル化を積極的かつ効果的に促進し、学習の状況を把
握し、自ら見通しを立てたり、新たな学習方法を見いだしたり、自ら学び直しや発展
的な学習を行うなど個別最適な学びの実現を図ります。」といったことを書いておりま
す。また、右側の小さいグラフマークのところは関連する成果指標となっていて、文
章と関連する成果指標を設け、成果を測っていくということに記載しております。そ
の下の電球のマークですが、本文中にも同じ電球マークをつけていまして、わかりに
くい言葉とかを調べなくてもいいように、ミニコラムや用語解説などを記載しており
ます。

14ページをご覧ください。このオレンジの囲み記事ですが、この計画内にたくさん記載しているものです。これは、単純に成績が全国に追いついたという現状だけではなく、現場の先生方の努力やこれまでの経緯経過など知っておいてほしい裏の部分を随所に入れております。

この計画は非常にボリュームがありますので、インデックスなどで気になるテーマを見ていただき、そこから本市が取り組んできたこと、今後5年間で目指すこと、関連する豆知識などをあわせてご覧いただきたいと思っています。また、審議会から、内容が伝わりやすい情報発信をするようご意見をいただいておりますので、写真を多く入れるなど工夫をしています。また、お時間のある時に他のページもご覧いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

白畑教育長 説明は終わりました。これより質疑に移ります。発言はございませんか。

徳山委員 意見がいくつかあるが、まず【基本方針】で個の尊厳や人権の尊重というのを謳っていて、一人一人に寄り添うということからすれば、子どもファーストが前面に出ていない構成となっている。次に、各論2の多様性と包摂性のある教育の推進のところで、多文化共生は出てくるけどジェンダーの記載がない。他には、体罰の防止に関する記載を各論5の教員の育成のところに入れたほうがいいのではと思う。

中平委員 定量的な数字や成果指標を含んだ構成になっているのは良い点だと思う。計画の内容としては、学校教育に特化していて生涯学習・社会教育の記載が少ないと感じた。国の教育振興基本計画の策定にあたっては、初等中等教育から高等教育、生涯学習・社会教育の連続性を重視し、共通課題を横断的に取り入れる視点を取り入れたと書いているので、本計画にもこの視点を入れてもらえたらと思う。また、赤字で線を引いている部分は子どもを主語に文章を強調されているが、子供たちが自分自身で未来を拓く力を手に入れるという表現になってしまわないよう注意が必要。今は生きづらさの理由は社会環境にあるという考え方になっているので、生きていく責任や能力を子どもに押し付けるメッセージにとらえられないか少し懸念がある。

企画管理課長 まず、子どもファーストをもっと打ち出すべきではないかという意見ですが、今までは学力向上を大きく打ち出していました、非認知能力の育成も大切ということで書かせていただいております。子供ファーストという言葉自体は入っていませんが、一人一人に寄り添うであるとか挑戦を後押しするといった表現に込めております。ジェンダーの部分は各論2にあたりますが、多文化共生の取組が多くなりLGBTの記載が薄くなってしまった部分は確かにございます。体罰に関しても、いじめと比べると相対的に記述が少なくなっていますが、各論に入れるのであれば5の教員の育成や研修のところになるかと思えます。また社会教育の記述については、本計画は大人まで含めて作っていますので、学校教育よりは少ないですが各論7のところに記載しています。

中平委員 以前から伝えていることだが、「教育は未来への先行投資」という言葉には違和感を

持っている。先のために今教育をするということではなく、そもそも学ぶこと自体が権利なのだから、教育自体が投資と言えるのかというのは議論するべき一文だと思っている。

企画管理課長 教育によって色々な成長とか知識が得られますが、個人に還元されるものではないと思っています。子供たちには未来の可能性がたくさんありますが、それに限らずよりよい社会を築いていくところが本来の教育の目指すところになりますので、投資という言葉はそんなに違和感は無いかと思います。

太田垣委員 【この計画に込めた思い】のところの「あまたの可能性が、さきを拓く 自分をつくり 互いを認める教育」というテーマは、伝えたいことが少しわかりにくいという印象を持った。【基本方針】は、人権・地域との連携というのは今の時代に適しているが、未来志向の教育というのは、どの時代でも言えることであり具体性に欠けると思う。【大切にしている3つの視点】のところは、3番「発信と共有で進化すること」と2番「挑戦を後押しすること」の内容が重複する部分があると思う。言葉の選択については、多様性という言葉はグローバルとローカルの二つの意味があるので語彙を改めてチェックしてもらいたい。

正岡委員 ワークショップで意見を聴いたとき、参加した教員はどんな方で何人ぐらい来たのか。

企画管理課長 ファシリテーションは、審議会委員をしていただいている大阪教育大学の庭山先生にお願いしました。各学校に平たく募集をかけて、幼稚園から高校まで20名程度の先生にご参加いただきました。ワークショップでは、尼崎の子供にどういうふうになって欲しいか、そのためにどういうことをしていくべきかというのを考えて意見を出し合いました。

正岡委員 管理職の参加が多かったのか。

企画管理課長 教員の方が多く、管理職の参加者は少なかったです。

正岡委員 最初に徳山委員が言ったとおり、尼崎の計画として打ち出すので体罰のことを各論5に記載したほうが良い。

中平委員 【この計画に込めた思い】のところは私も少し違和感があって、「ひと咲きまち咲きあまがさき」という市のフレーズが定着しているので、未来を意味する先ではなく、可能性が花咲くという意味で整理したら上手く一致するのではないかと。またこの計画は、教職員や市民の方がこれから5年間目を通し続ける冊子になってもらいたいですが、学校より事務局としての取組が非常に多く書かれているので、学校としての取組をもう少し盛り込んでもらえたらと思っている。あるいは、成果のところの小・中学校での先進的な事例を載せていけば、他の学校でも取り組むきっかけができるのではない

か。文章の点では、学校か教育委員会か施策の主体としてどちらが主語かわからないところがいくつか見受けられたので、その辺りを確認してほしい。

徳山委員 【大切にする3つの視点】の「発信と共有で進化すること」という表現は、意味が伝わりにくいのでは。

企画管理課長 この表現には2つの意味がありまして、良い取組をもっと情報発信していくべきということと、受け答えやコミュニケーションをもう少し丁寧に対応することで円滑に物事が進むという意図が含まれています。

白畑教育長 自由進度学習や教科担任制など先進的な取組をしている学校もあるので、そういう新しい取組を発信し挑戦を後押ししていきたいと思っている。

太田垣委員 発信と共有という言葉の意図は伝わったが、別の意味を持つ二つを一緒にするのはわかりにくいと思う。

白畑教育長 ご意見いただいている【この計画に込めた思い】のキャッチフレーズですが、尼崎はこういう教育を目指すということを端的に何か思いとして伝えられるような言葉で考えてもらいました。先を開く未来という思いも込めて、子供には無限大の可能性があるという意味で数多の可能性という表現にしています。

安田教育次長 審議会でも色々ご意見いただいて、尼崎が目指す教育を端的に表すフレーズになっていると思います。

中平委員 最初にも言ったところだが、教育を受けて自分自身で力を身に付けなくてはいけないと捉えられないよう気を付けてもらいたい。周りが支えてくれるという解決の仕方もあるので、うまくいかなかった時に個々人の調整能力が足りないからとか、対応力が足りないという個人に責任に帰結する文脈を発してしまわないよう表現を考えてほしい。

白畑教育長 他に質疑がないようですので、本件についての報告は終わります。次に、日程第4「教育長の報告と委員協議」に移ります。報告を求めます。伊元 企画管理課長。

企画管理課長 企画管理課長でございます。「教育委員会11月定例会報告事項」について、ご報告いたします。お手元の資料、17ページをお開き願います。まず、総務関係でございます。11月7日に「第5回教育振興審議会」を開催しました。また、10月31日に「阪神7市1町教育委員会連合会第2回研修会」、11月13日に「近畿市町村教育委員会研修大会」が開催され、徳山委員、正岡委員にご出席いただきました。次に、学校教育関係でございます。10月29日に「尼崎市立中学校・高等学校音楽会」、11月13日から14日にかけて「小学校音楽会」が、アルカニックホールで開催されました。また、11月12日に、「第3回学びの多様化学校有識者会議」が開催されま

した。次に、社会教育関係でございます。11月18日に、「社会教育委員会議」を開催しました。また、23日には、「第2回あまがさきリレーマラソン」を開催いたしました。最後に、今後の主要行事予定でございます。12月10日14時30分から総合教育会議の開催を予定しています。議会関係につきましては、12月市議会定例会が予定されております。12月の定例会では、4日から6日にかけて一般質問が行われ、11日に文教委員会が開催される予定です。文教委員会では、先日ご承認いただきました、「和解及び法律上市の義務に属する損害賠償の額の決定について」と、この後ご説明します、「物件の買入れについて（追認）」をご審議いただく予定です。教育委員会関係につきましては、12月23日15時30分から教育委員会12月定例会の開催を予定しています。報告は以上でございます。

白畑教育長 報告は終わりました。報告内容について質疑はありませんか。

徳山委員 リレーマラソンの参加者が少なかったため、学校にもチラシを配るなど工夫が必要だと思う。

企画管理課長 10キロの部が56人、ファミリーリレーが69人、合計125人に参加いただきましたが、定員より少なかったため工夫してまいります。

白畑教育長 他に質疑はありませんか。

白畑教育長 他に質疑がないようですので、教育長からの報告を終わります。それでは、ここからは非公開といたしますので、傍聴の方はご退席願います。

~~~~~以下 議事の概要は非公開とする~~~~~

白畑教育長 以上を以って、本日の日程は全て終了いたしました。
これをもって、尼崎市教育委員会11月定例会を閉会といたします。

以上、尼崎市教育委員会11月定例会の議事の全部を終了したので、午後6時52分、教育長は閉会を宣した。

尼崎市教育委員会11月定例会において、以上のとおり議事が行われたことを記録します。